

次期九州大学総長に求められる資質・能力、ミッション、取り組むべき課題

令和2年3月19日
九州大学総長選考会議

九州大学は自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた世界最高水準の研究教育拠点となることを目指している。この基本理念を実現するため、本学は、経済社会のグローバル化、少子高齢化、厳しい財政事情の環境下にあつて、優れたビジョンを打ち立て、大胆な組織再編や限られた資源の一層効率的な配分を実現する先駆的な改革を推進している。

次期総長には、本学が進めてきた改革をなお一層推進することができる高い見識と強力なリーダーシップそして発信力が必要である。次期九州大学総長に求められる資質・能力、ミッション、取り組むべき課題は以下のとおりである。

1 求められる資質・能力

- (1) 人格が高潔で、学識が優れ、かつ、我が国を代表する基幹総合大学としての教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有すること。
- (2) 本学の基本理念を実現するためのビジョンを持ち、それを教職員に浸透させるためのコミュニケーション能力及び実現するための決断力・実行力・責任感を有すること。
- (3) 本学の包括的な最終責任者として、教職員を指揮監督する自覚と強力なリーダーシップ並びに危機管理能力を有すること。
- (4) 国の内外に本学の存在感を示すための強い発信力を有すること。
- (5) 優れた経営感覚を有すること。

2 ミッション

- (1) 九州大学教育憲章及び学術憲章に則り、世界トップクラスの教育・研究・診療を推進するとともに、「躍進百大」の実現に向けて取り組むこと。
- (2) グローバル化社会で活躍できる秀逸な人材を育成するため、分野横断的な俯瞰力、課題発見・解決能力、自ら学ぶ姿勢と能力を育成する学部・大学院教育を展開すること。
- (3) 各分野において、学術基礎から社会展開まで世界と伍する研究力の強化を図るとともに、国際協働の展開を一段と進めること。
- (4) 教育・研究・診療のいずれにおいても、社会変革を推し進めるため、成果・実績の発信を強化するとともに、それらを活かし社会のニーズに応えるなど、社会連携を推進すること。
- (5) 強力なガバナンスの下で大学全体が一体感を持って動く基盤を強化し、外部資金の獲得や民間からの投資の増加などにより大学経営の好循環を創出する体制を構築すること。

3 取り組むべき課題

- (1) 「国立大学法人九州大学 指定国立大学法人構想」を踏まえ、教職員と常にビジョンを共有し、社会へ発信しつつ、「アジアから未来を共創する世界屈指の大学」の実現に取り組むこと。
- (2) 少子高齢化、グローバル化、技術革新、「持続可能な開発目標 (SDGs)」などによる社会の急速な変化に適切に対応し、本学の進むべき方向を示しつつ、これに沿った取組を迅速に行うこと。
- (3) 未来社会を先導する人材の育成を目指し、デジタル社会に対応した教育研究環境の整備、共創学部の成果の全学展開、世界水準の教育プログラムの構築などにより、学部教育の進化と大学院教育の改革を推進すること。
- (4) 多様で秀逸な若手、女性、外国人研究者を育成することにより、次世代研究者層の充実を実現すること。
- (5) 教員の研究時間の確保などによる自由闊達な研究の推進、研究者の共同・協働による研究体制の整備、本学の強みとなる分野等への集中投資を進めるなど、戦略的な研究推進体制を構築すること。
- (6) 戦略的な国際化推進体制を構築するとともに、国際頭脳循環拠点の形成に向けた取組を推進すること。
- (7) 研究と社会展開の好循環に向けた産学官共創を強化・推進すること。この際、大学発ベンチャー創出やリカレント教育に関する取組を更に進めること。
- (8) 高度先進医療による地域と国際社会への貢献をさらに進めること。
- (9) 地元と共に栄え、地域住民の誇りとなる大学として発展し続けられるよう、自治体や産業界等と連携・協力し、地域の発展に貢献していくこと。
- (10) 大学改革活性化制度をはじめとする「機能強化システム」の充実を図り、トップダウンとボトムアップの双方向でビジョンと現状を相互に共有し、総長がリーダーシップを発揮するガバナンスを確立すること。
- (11) 秀逸な人材のパフォーマンスを高めるため、人事給与マネジメント改革を推進すること。
- (12) 海外ネットワークの整備、ファンドレイジングの強化、同窓会組織との連携強化、基金の充実などに取り組むとともに、外部資金の更なる獲得と経費節減等により財務基盤を強化すること。
- (13) 学生・教職員が誇りに思う充実したキャンパスづくりを引き続き進めるとともに、新しい街づくりに向けた箱崎地区等の跡地売却・活用を推進すること。
- (14) 学生・教職員の安全管理を徹底し、教育・研究活動等に関する事故防止や、非常時・災害時における対応・体制整備をより一層進めること。
- (15) 福岡・九州、我が国、国際社会の今後の発展・課題解決や、これらを見据えた国立大学の今後の役割・在り方の検討に向け、他大学・関係機関とも連携し、九州大学としての積極的な提言や貢献を行っていくこと。